



< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	事業所名	あすならホーム桜井 看護小規模多機能ケアホーム
所在地	〒633-0062 奈良県桜井市栗殿800		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・10の基本ケアを基にした介護を実施しており、介護方法がきちんと確立されています。
- ・ケアの考え方として、自身の力を利用し自立を促す支援を心掛けています。
- ・多機能サービスの特徴である訪問、通い、泊り、看護のサービスを柔軟に提供します。
- ・看取りまで関わる事ができます。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2026 年 2 月 18 日	従業者等自己評価 実施人数	(8) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2026 年 3 月 20 日	出席人数 (合計)	(6) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	☐ 自事業所職員 (3人) ☐ 市町村職員 (人) ☐ 地域包括支援センター職員 (1人) ☐ 地域住民の代表者 (2人) ☐ 利用者 (人) ☐ 利用者の家族 (0人) ☐ 知見を有する者 (人) ☐ その他 (人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・日々の経過、伝達は ICT ツールを使用して共有を進めることで、ケアへの時間を確保することを目指していく。	・利用者毎の日々の支援した内容（支援経過）も手書きから、PC への入力に切り替えを行った。 ・往診医とも ICT 化を進め情報共有を迅速に対応できるようにした。	・ICT 化を進めることにより、効率良い共有とペーパーレスが進んだ。 ・家族さんにも双方向で可視化ができるように ICT 化を進め、ケアの状態も含めて共有を行うことを目指す。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・利用者さんが、いまある複数の機能を活かし在宅生活を支援すること。 ・多様な医療ニーズに対応するため、職員のスキルアップ（振り返り・研修）を重視していくこと。	・他職種間の連携の場として、業務改善計画を毎月定例で行ってきた。 ・往診医との迅速な連絡、情報共有を行えるように ICT 化を進める。	・他職種が常に情報共有を行い、目指すべきケアの目合わせを含め、利用者の状態把握などを行っていくことを心掛けて ICT の活用と定例ミーティングで進めることが出来た。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・医療機関と施設との連携と情報共有等により利用者の円滑な在宅生活への移行を支援していく。	・退院時含め主治医へも ICT ツール（MCS や line works 等）を使用し利用者の状態を報告・共有を行う。 ・緊急時はかかりつけ医との連携対応	・ICT 活用や医療機関連携は前進した。 ・今後は地域に向けた関わりを拡げていく事であり、民生委員や地域住民との関りを拡げていきたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	・地域住民向けの学習会などを通じて、住み慣れた場所で暮らしたい思いを支援するための情報発信を進めていく。	・サロン参加者に向けたあすなら学習会を開催することができた。 ・地元防災訓練に初めて参加した。	・サロン参加者には積極的に学習会への呼びかけを行うことができた。 ・地元の防災訓練には継続参加行う。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		・サービス提供による利用者・家族の安心感を職員が実感。今後、より多くの人々に安心を届けられるよう、更なるサービスの向上を目指す。	・他職種間での情報共有を ICT を活用を踏まえて進めてきた。 ・学習会、定例会議を通じ家族さんから情報共有共有することができた。	・利用者様・ご家族様が安心されている声が聞けている。 ・在宅支援の満足度がさらに上がるように取り組みを進めていく。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		当サービスに求められる医療ニーズの高い利用者の在宅生活支援を他職種での定例会議や、医療機関とICTの活用を行うことで進めていくことが出来ていること確認できた	・ あすなら 10 の基本ケアの学びを事業所で進める ・ 運営推進会議の意見をサービスに反映する仕組みを作る。 ・ 家族さんとも利用者の日々のケアの状況を共有する。
Ⅱ. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者の特性や変化に応じた状況を把握することやケアプランの作成と日々のケアがどのようにされているのかがよく理解できた。継続してほしい。	・ サービス内容を各職員が把握し、伝えることが出来るようにすること。 ・ 医療処置・介護方法を丁寧に指導し、家族の理解と協力を促す。 ・ 状況に応じた訪問介護を実施し、家族の負担軽減を目指す。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	どのように連携されているのかがよくわかりました。 継続してほしい。	・ 運営推進会議に家族参加を呼び掛ける。 ・ 利用者の課題を共有し、多職種が連携できるようにする。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	サロン活動の取り組みは良いと思います。さらに地域の参加が増える取り組みや、運営推進会や学習会へ民生委員や家族さんなど地域の方々への発信をしてほしい。	・ 運営推進会議に民生委員や家族さんの参加してもらうことが出来るように働きかける。 ・ 地域の防災訓練活動などに地域課題に参加する
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42～44)		利用者の多いだけでなく家族さん、他職種間で細やかな情報共有をして下さっていることがわかり、このサービスで在宅での療養生活や看取りに至るまで安心して暮らせることができると実感することが出来た。今後はこのサービスを地域の方々に知らせていく事も進めてほしい。	・ 利用者・家族との対話を更に重視し、不安解消に努める。 ・ 看取りに対する不安を軽減するため、家族や医療機関との連携を進めていく。 ・ 家族とのケアの情報を共有できるようにICT化に努める。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ 事業運営の評価【適切な事業運営】							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	2	6	0	0	・ 家族さんからは、入院前後を含め、本人が「あすならに行きたい」と話していたこと、職員の雰囲気がよく、親しみやすく、安心して利用できていたとの意見があった。 ・ 食事摂取が難しかった方が少しずつ食べられるようになったことや、面会が比較的柔軟であることも、利用しやすさにつながっているとの声があった。 ・ 地域の中でのあすならの評判は「雰囲気がよい」「職員が親切」といった印象があるとの意見があった。 ・ 地域包括支援センターからは、学習会への参加やInstagramでの発信を通じ、事業所の取り組みが伝わっており、よくできているとの評価があった。	✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」 ✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」 ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
2	○ サービスの特徴および事業	1	7	0	0	・ 職員は概ね理念や事業所の特徴	✓ 「サービスの特徴および

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
	所の理念等について、職員 がその内容を理解し、実践 している	[具体的な状況・取組内容] ・各自、重要事項説明書の内容で確認しています。 ・事業所の理念を理解していると思うが、解釈を誤っている時があるかもしれない。 ・在宅での生活ができるような個別リハビリや、支援が適宜更新され、スタッフ間で共有できている。 ・通い、訪問、宿泊等の柔軟なサービスがあるのが特徴 ・地域の方に向けた学習会では利用者さんの喜ばれた事例を発表することで、あすならの取り組みの紹介を行った。 ・具体的には複数の利用者さんの独居生活の支援、本人が気にしている転倒防ぐ取り組みとして自宅の平行棒などを使ったり、あすなら体操を指導したり、歩行器でリハビリをするなどを意識して行っている。				を理解しているとの認識は共有した上でいくつかのコメントを頂いた。 ・事業所そのものの存在や特徴について、地域での知名度はまだ十分とは言えないのではないか。 ・「生協がやっているところ」としては知られていても、事業内容の具体像までは十分伝わっていないのではないか。 ・車両や外観も含めて、やや目立ちにくい印象がある。 ・実際に利用して初めて良さが分かった、という声もあった。	理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します ✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」
(2) 人材の育成							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通	1	4	3	0	・自己評価ではばらつきがでたこ	✓ 「育成計画の作成」の状況

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおそ できて いる	あまりで きていな い	全く できてい ない		
	じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・あまり自己啓発は出来ていないが内部 の研修は受けている" ・法人の研修である訪問看護研修は全員 を派遣することが出来た。 ・定期的に話し合いの場があり、計画目 標や、振り返りもできている。 ・各職員の教育担当や目標が明確には分 かりにくい。 ・長期的な計画の作成は出来ていない ・リーダー育成が課題。 ・送迎表作成担当の育成の課題は看護師 も含めて作成できる職員を増やすこと で解消してきた。				とについていくつかのコメントを いただいた。 ・設問自体がやや抽象的で、職員に よって受け取り方に差が出たので はないか。 ・日々の業務が多忙であり、自己啓 発や専門技術向上のための取り組 みを十分に意識しにくい実情があ るのではないか。	について、充足度を評価し ます ✓ すべての職員について育 成計画などを作成してい る場合は「よくできてい る」 ✓ 育成計画などを作成して いない場合は「全くできて いない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機 会を育成計画等に基づいて 確保するなど、職員の専門 技術の向上のための日常業 務以外での機会を確保して いる	1	5	2	0	・日々の業務で忙しいとは思いますが 自己啓発だけではなく、法人とし ての研修機会と研修の時間確保を 大事にしてほしい。	✓ 「専門技術の向上のため の日常業務以外での機会 の確保」について、充足度 を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る。 ・今後の課題は介護職の喀痰吸引ができる職員の退職による新たな職員の研修が課題。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	3	5	0	0	・職員間での共有ができていることを自己評価から伺えます。継続をお願いします。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容] ・エルガナやガルーンで情報共有できている ・その都度、連絡事項を共有して、急ぎの対応、相談もできていると思う。 ・月1の業務改善会議、エルガナ使用し情報共有を行っている。 ・情報共有できるツールを利用し、タイムリーに情報は共有できている。 ・月に一回の業務会議、共有ツールを使用し情報の共有ができている雑談の中で、気になる利用者に関する情報を共有し、問題があれば常に共有する体制が取られている。					
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要	0	7	1	0	・運営推進会議で出た意見が、職	✓ 「得られた要望・助言等の

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	[具体的な状況・取組内容] ・会議での話し合った事を実践できた時もあるが、できない事も少しあった。 ・どのような意見が実際に出ているのかは現場ではわからない。 ・要望や助言等が得られていない				員全体にどの程度共有されているかは、なお工夫の余地がある。 ・管理者から業務改善会議等で報告はされているものの、現場の職員にとっては具体的な意見内容が見えにくい面があるのではないかな。	サービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2	4	2	0	職員が安心して働くことができる就業環境の整備について、事業所から現状を説明した。 残業は前年に比較すると減少し休みや年休取得にも配慮していること、新たな職員採用も進めていることを報告した。 ・介護業界全般に関して人手不足を感じる場面があり、特に現場の負担軽減は重要である。 ・新たに職員が入職し継続勤務していることは評価できるが、今後はその方がどこまで一人立ちできるかが大切である。 ・介護・看護の仕事は体力的負担も大きく、年齢が上がるほど健康面への配慮が一層必要になる。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
						・若い世代の採用が進むとより望ましいが、実際の応募状況としては高齢層が多い現実もある。	
(4) 情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	3	5	0	0	・多職種間での情報共有について、ICTを活用し、手書き記録から入力型ツールに移行している状況の説明と訪問先でも情報確認や記録入力が可能になり、共有の効率化が進んでいると報告後コメントをいただいた。 ・ICT化による情報共有の効率化は評価できる。 ・記録がその場で残せ、複数職種が同じ情報を確認できる体制は、今後も継続・充実が望ましい。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
(5) 安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者	1	7	0	0	・これは多くの介護施設に共通する	✓ 「各種の事故に対する予

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い			
	等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・災害訓練等を行なっている ・インシデントレポートの作成など振り返りをしている ・事故報告があれば共有できている ・災害訓練の実施、その後の改善点、反省点の振り返りが行われている。 ・災害の場合に寝たきりの利用者さんにとどのようにして命を守る行動を行うのかを具体的に訓練することが課題。				課題であり、非常に重要なテーマである。 ・命を守る初動訓練だけでなく、その後 3 日間程度を自力でどう乗り切るかが大切である。 ・停電時の電源確保、とくに吸引等の医療的ケアを必要とする方への対応は重要な課題である。 ・自家発電設備だけでは不十分な面もあり、ポータブル電源や助成金活用も含め、具体策の検討が必要である。 ・地域防災訓練への参加は継続しつつ、地域との連携や実践を積み上げていくことが望ましい。	評価の視点・ 評価にあたっての補足 「防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます	
② 災害等の緊急時の体制の構築								
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	0	6	2	0	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・食べ物の備蓄などされているが、それ以外は十分に共有されていないのではないか。 ・利用者さんごとに具体的な支援の必要性は、理解できている。	・しっかりと取り組みがなされていることがわかった。 ・継続して充実させていただくようお願いします。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニユ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 アル化」などが考えられま す
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・災害時の訓練において命を守る行動は 取り組まれているが、業務を継続する 上での具体的な取り組みについては これからの課題です。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を含 む、利用者等の 24 時間の暮 らし全体に着目したアセ スメントが行われている	0	7	1	0	・情報共有やケアプラン見直しは概 ね行われていることがわかった。 ・家族への医療処置やケアの説明に ついては、必要に応じて分かりやす い工夫がされている。 ・看取り支援については、最後まで 関わる姿勢や家族への寄り添いが 感じられるとの意見があった。	✓ 「家族等も含めた 24 時間 の暮らし全体に着目した アセスメント」の充足度を 評価します ✓ ケアが包括的に提供され る看護小規模多機能型居 宅介護においては、家族等 を含めた 24 時間の暮らし 全体に着目したアセスメ ントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞ れの視点から実施したアセ スメントの結果が、両職種 の間で共有されている	2	6	0	0	・介護職・看護職間で、さらに双方 向の提案や意見交換が進むとよい のではないかと。	✓ 「介護職と看護職間での アセスメント結果の共有」 について、充足度を評価し ます ✓ 介護・看護の両面から行わ れたアセスメントの結果

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・共有するときには、従来は手書きであ ったが、今はICTを使うとともに写真 を送ることで職員間可視化共有できる ようにしている。 ・業務会議や、ツールを使い迅速に共有 できている					は、その後のつき合わせな どを通じて、両職種で共有 されることが望ましいと いえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	1	7	0	0	・自己評価の説明を聞いてよく分かった。継続してほしい。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
		[具体的な状況・取組内容] ・家族様との連絡を密にするように心がけている。 ・目標に向けて他職種で話し合い、方向性を決めている ・今後の課題は家族さんとの情報共有を深めるために日々のケアを双方向で可視化できる ICT 化の構築を進めること。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	0	8	0	0	・あすなら 10 の基本ケアの話を聞いて理念が深まった。 ・	✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地
		[具体的な状況・取組内容] ・あすならの理念である生活リハビリを常に考えている ・個別リハビリ等を考慮、看護計画の立案、修正をしている ・変化に対応しその都度適切な支援がで					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		きている					
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0	7	1	0	・介護職だけでなく看護師、別々ではなく一体として関わって下さっていることや往診医師などとの連携がとれていることがわかった。	✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です
		[具体的な状況・取組内容] ・他職種の連携により看護計画も立案している。 ・変化に応じてケアプランの作成がされている。					
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	3	5	0	0	・利用者個々の状態の変化を捉えてケアプランに反映することが分かった。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] ・状態の変化や対応方法の変更はすぐ共有できている ・ケアマネと情報共有し迅速な対応、ケアプランの変更を行っている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度	1	4	3	0	・看多機のサービスの特徴がよく	✓ 「訪問による、家族等を含

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	に偏らないよう、適時適切 に利用者宅を訪問すること で、家族等を含めた居宅で の生活状況の変化を継続的 に把握している	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・泊まりの利用者の一時帰宅の際の状況 など把握を行っている。 ・独居や在宅訪問中心の利用者さんへの 生活状況やケアプランの実施に関して 生活状況の変化に対応できるようにこ ころがけている。				わかった。 ・ご自宅での様子を訪問により把 握、提案を家族さんと話し合われ ていることがよくわかりました。	めた居宅での生活状況の 変化の継続的な把握」とい う視点から、充足度を評価 します ✓ 訪問によるケアの提供は、 家族等を含めた居宅での 生活状況を把握するため にも重要です
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主 治医など、事業所内外を含 む関係多職種と情報が共有 されている	1	7	0	0	・往診医とは電話だけでなく S N S を使って迅速に報告、指示をう けている連携がわかった。	✓ 「利用者等の状況変化や 目標の達成状況等の事業 所内外を含む関係多職種 との情報共有」について、 充足度を評価します
<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・連絡を密にしている ・往診での共有や訪問看護報告書での共 有 ・MCS などの医療ツールや Line works を使い、変化があれば随時連絡、報告 ができるようになった。							
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれ	2	6	0	0	・説明を聞いてよくわかりました。	✓ 「介護職と看護職の専門

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	の専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・勤務状況にあわせ柔軟に役割分担ができています ・支援する内容によって臨機応変に対応できている				継続してってください。	性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	5	0	0	・情報の共有はとても大事なことがよくわかりました。継続してってください。	✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対し	1	3	4	0	・看護職からの情報提供は専門性	✓ 「看護職の専門性を活か

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	て、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・連絡を密にしている ・情報発信を更に変化に応じ頻度を上げることや提案などにつながる意見も出していく事が課題である。				が高いと思うが提案などにつながる意見も出していく事があると思うので進めてほしい。	した、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	5	1	0	・評価できる	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・ケアマネ主体で出来ている ・疑問に思われた時は本人、家族に説明し理解、納得をしてもらっている					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅	2	6	0	0	・評価できるので継続してほしい	✓ 「利用者等の理解」につい

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 て、充足度を評価します
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・都度、主治医と連携、相談し理解をしてもらっている。 ・今後の課題は日常的に利用者さんの様子を家族さんも可視化できるような仕組みづくりを進めていく。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	5	1	0	・必要な場面ではぜひお願いします。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	3	5	0	0	・理解できた。継続をお願いします	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・主治医とも連携し希望に添えるよう支援している					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共	2	6	0	0	・継続してほしい	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価し
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・状況にあわせて本人、家族と相談し、泊まりのサービスを提供できている					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足 ます
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	有することができている	・ 時期をみて、家族は本人に説明し理解してもらい、ケアプランにも反映し共有できている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	<u>1</u>	<u>7</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	・ 家族さんの意向を伺いながらターミナル期を迎え過ごすことを大事にしていることがよくわかった。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
2. 多機関・多職種との連携							
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	・ よくわかりました。 継続して行ってほしい。	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている	2	6	0	0	・医療機関との迅速な連携が行わ れていることがわかりました。	✓ 「緊急時の対応方針等の 主治医等との相談・共有」 を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等 介護者の状況の変化など、 実際に発生する前の段階 から予め対応方針等を主 治医等と相談・共有してお くことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が 可能な体制が構築されてい る	3	2	3	0	・現状の課題も含めてわかりまし た。	✓ 「即座な対応が可能な体 制の構築」について、充足 度を評価します
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、	1	6	1	0		✓ 「利用者のために必要と

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	[具体的な状況・取組内容] ・市役所や民生委員と連携し、親族探索や情報共有を実施。 ・連絡を密にしている ・運営推進会議を開催されている ・会議等で情報を共有している ・桜井市民生委員 40 名が地域密着サービスの内容を知る上で当事業所に見学の受け入れを行った。 ・課題としては家族さんや民生委員さんなど地域の方々の参加を呼び掛けていきたい。				・運営推進会議や見学受け入れなど、取り組みは行われている。 ・民生委員や地域住民、家族などの参加を今後さらに広げていくことが望ましい。 ・学習会やサロン活動は評価できるが、地域全体への発信としてはまだ伸びしろがある。 ・地域包括支援センター等とのつながりだけでなく、地域住民への周知をさらに進める必要がある	なる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について	1	4	3	0		✓ 「誰でも見ることができ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	て、誰でも見ることができ るような方法での情報発信 が、迅速に行われている	<u>【具体的な状況・取組内容】</u> ・欠席の場合でも議事録のプリントアウトが配布される				・職員の関心度合いもあるが 引き続き職員の会議などでの発信をお願いしたい。	る方法での情報発信」と 「迅速な情報発信」の2つ の視点から、充足度を評価 します
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	2	4	2	0	・サロンへの参加は送迎を中心に職員も行っていることがわかりました。以前に比べ多くの地域の方が来られていることがわかりました。	✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	1	1	2	4	・ここが課題ですね	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
							状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	6	2	0	0	・とてもありがたいことです。家族が行うには大変だから。 ・継続してほしい	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす	5	2	1	0	・わかりました	✓ 「積極的な受け入れ」につ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・まだ実績がない状況で、それに向けた体制を整えていないのが現状である。					いて、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	5	3	0	0	・いくつかの事例を聞きました。 ・家族さんにも丁寧な対応をされていますね。	✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38		1	6	0	0	・これからの課題ですね。	✓ 「内容等の理解」について

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	[具体的な状況・取組内容] ・発信はしているものの十分に理解が深まっているとはいえない状況である。				・地域の困りごとに直面される民生委員さんにも参加いただくことがいいのではないのでしょうか	て、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2	6	0	0	・取り組みがわかりました	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	およそ でき て い る	あまり でき て い な い	全く でき て い な い		
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	3	4	0	・ 毎月定例で業務改善会議がなされていることがわかりました	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」
41	○ 家族等や近隣住民などに対	1	5	2	0		✓ 「家族等や近隣住民に対

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき て い る	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	し、その介護力の引き出し や向上のための具体的な取 組等が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・介護のやり方の指導を行なっている ・地域の方を招き学習会を行い、サービ スの説明や事例発表を行い理解を得て いる				・あすなら学習会に参加を呼び掛け たりすることもこれからは積極的に 行ってほしいと思います。	する、介護力の引き出しや 向上のための取組」につい て、その充足度を評価しま す ✓ 今後は、利用者への家族等 や近隣住民の関わりを促 しながら、関係者全員の介 護力を最大限に高めるこ とにより、在宅での療養生 活を支えていくための環 境を整えていくなどの役 割も期待されます ✓ そのような取組をしたこ とがない場合は、「全くで きていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	・ほぼ全ての利用者に対して達成している (1) ・利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (5) ・利用者の 1/3 くらいについて、達成されている (2) <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 利用者の計画目標達成に向けて努力しているものの、業務多忙により目標の認識が薄れることも。個々の目標達成はできて	・わかりました。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	・ほぼ全ての利用者に対して達成している (3) ・利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (4) ・利用者の 1/3 くらいについて、達成されている (1) <u>【具体的な状況・取組内容】</u> 在宅療養に関して、家族が安心・納得できるまで話し合い、不安を解消。在宅フォローも実施。<u>る場合もある。</u>	・わかりました。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	・ほぼ全ての利用者に対して達成している (3) ・利用者の 2/3 くらいについて、達成されている (3) ・利用者の 1/3 くらいについて、達成されている (2) <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 在宅看取りにおいて、介護士・看護師・主治医が適時訪問、家族と密に連携。介護支援専門員を含めたチームで対応。	・わかりました。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」